



国総施第149号
国総建第312号
国総振第141号
平成18年 2月17日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（1月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 〃
3. 建設機械名 〃
4. 通 称 名 〃
5. 型 式 〃
6. 不具合の部位 〃
7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall05/recall_.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成18年1月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成18年1月11日	(株)小松製作所	シヨベル・ローダ	PW015	PW200-7	かじ取装置 (ステアリングシリンダ)	4台
2	平成18年1月11日	住友ナコ マテリアル ハ ンドリング(株)	フォークリフト	FB09PE,8FB09P,FB10PE,8FB10P,F B14PE,8FB14P,FB16PE,8FB15P,FB 18PE,8FB18P,FB20PE,8FB20P,FB2 5PE,8FB25P	SB1G,SB2G	動力伝達装置 (車両走行制御コントローラ)	122台
3	平成18年1月11日	小松フォークリフト(株)	フォークリフト	M190,M191,M192,M193,M194	—	動力伝達装置 (車両走行制御コントローラ)	260台
4	平成18年1月11日	TCM(株)	フォークリフト	FA15B,FA20B,FA25B,FA30B,FA15B -J,FB10-7,FB15-17,FB15-7,FB20- 17,FB20-7,FB25-17,FB25-7,FB30- 7,FB30-7V	F93,F94,F95,F112,F98,F99,F100	動力伝達装置 (車両走行制御コントローラ)	124台
5	平成18年1月11日	(株)小松製作所	シヨベル・ローダ	WA270-5,WA320-5	W104,W105	動力伝達装置 (推進軸)	45台
6	平成18年1月26日	(株)日立建機アルパ	シヨベル・ローダ	LX20-7,L4-2	SA-HF36A,SA-TF36A	盗難防止装置 (電気回路)	101台
7							
8							
9							
10							

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 URL:http://www.mlit.go.jp

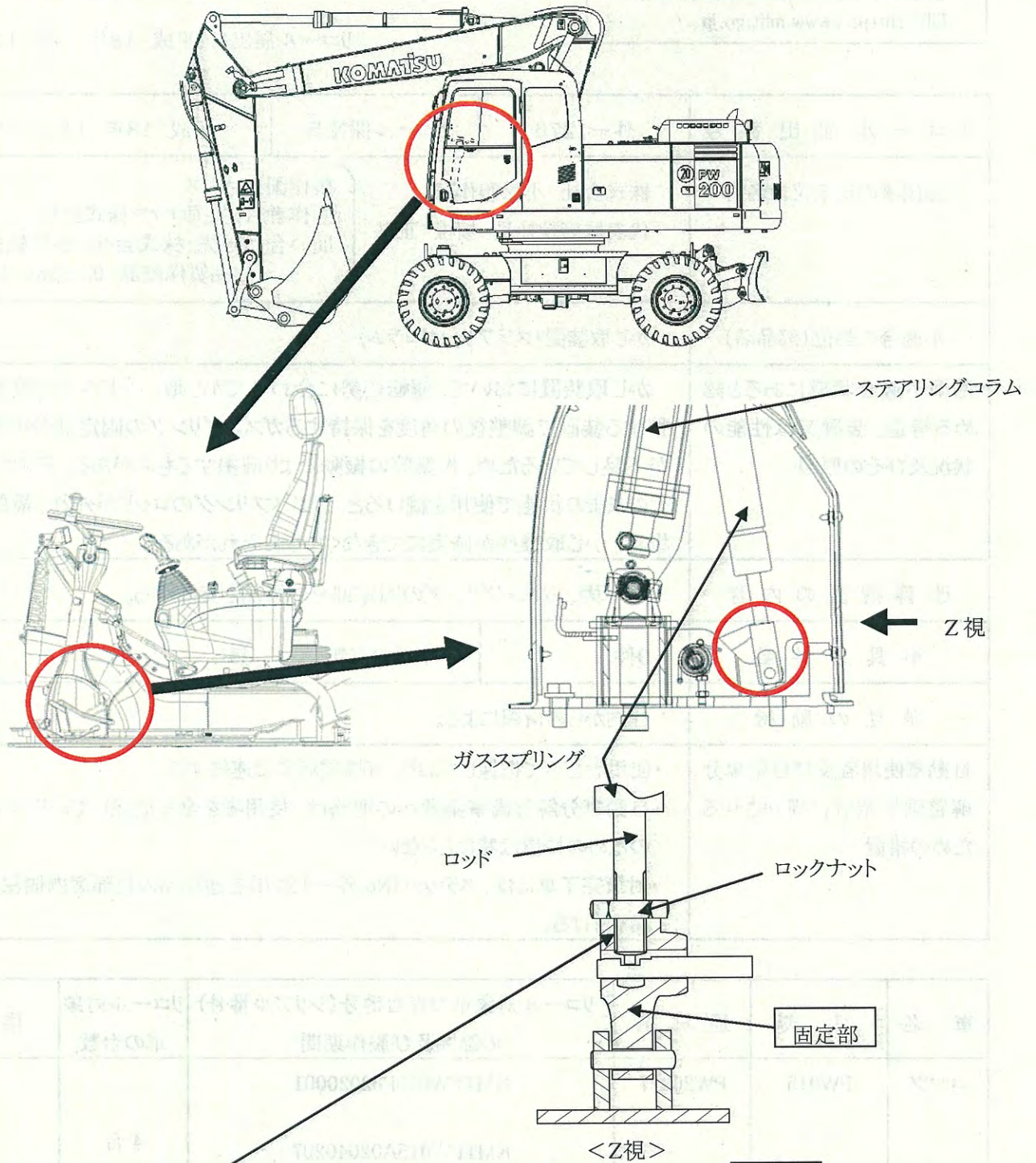
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 18年 1月 11日

リコール届出番号	外-1276	リコール開始日	平成 18年 1月 11日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘	製作国:イギリス 製作者名:英国コマツ株式会社 問い合わせ先:株式会社 小松製作所 品質保証部 03-5561-2686	
不適合の部位(部品名)	かじ取装置(ステアリングコラム)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	かじ取装置において、運転姿勢に合わせてかじ取ハンドルの角度を調整する装置で調整後の角度を保持するガススプリングの固定部分の強度が不足しているため、作業等の振動により破損するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ガススプリングのロッドが外れ、最悪の場合、かじ取操作が確実にできなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ガススプリングの固定部を対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているため周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.外-1276)を運転席の後部窓内側左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	PW015	PW200-7	KMTPW015P02020001 ~ KMTPW015A02040207 平成 15年 11月 7日~平成 16年 11月 29日	4台	
	(計 1 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 15年 11月 7日~平成 16年 11月 29日	(計 4 台)	

改善箇所説明図



不適合発生箇所

注: は交換部品を示す。

かじ取装置において、運転姿勢に合わせてかじ取ハンドルの角度を調整する装置で調整後の角度を保持するガススプリングの固定部分の強度が不足しているため、作業等の振動により破損するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ガススプリングのロッドが外れ、最悪の場合、かじ取操作が確実にできなくなるおそれがある。

改善措置の内容 : 全車両、ガススプリングの固定部を対策品と交換する。

識別 : 角度調整ペダル取り付けピン端部に白色ペンキを塗布し識別する。

連絡先: 国土交通省 自動車交通局 技術安全部
 審査課 リコール対策室
 電話番号: 03-5253-8111 内線: 42353
 アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

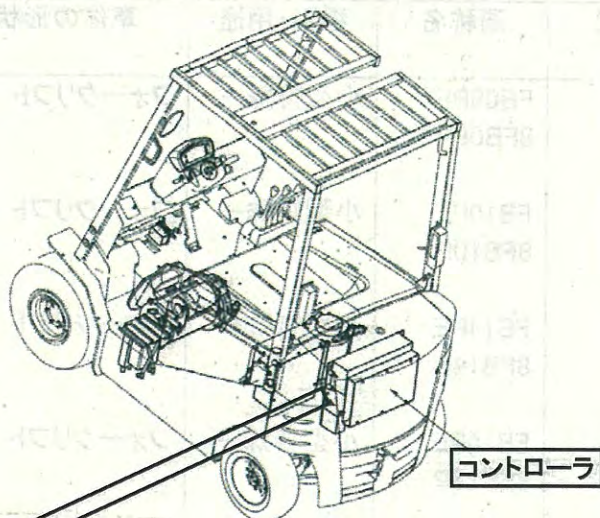
リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成18年1月11日

リコール届出番号	1594	リコール開始日	平成18年1月12日
届出者の氏名又は名称	住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社 代表取締役社長 木村 宣夫 (製作国: 日本 製作者名: 住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社) 問い合わせ先: 品質保証部 0562-48-5275		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(車両走行制御コントローラ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該コントローラを対策品と交換する。		
不具合格数	12件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者: ダイレクトメール又は直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者: 使用者を全て把握しているので周知の為の措置はとらない。 ・対策実施済み車: フロントカウル前面左側面にステッカー(No.1594)を貼付けする。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
SN	SB1G	FB09PE 8FB09P	SB1G-00012 ~ SB1G-00092 平成13年7月12日~平成16年5月27日	13台	
SN	SB1G	FB10PE 8FB10P	SB1G-00017 ~ SB1G-00078 平成13年9月12日~平成15年12月10日	8台	
SN	SB1G	FB14PE 8FB14P	SB1G-00013 ~ SB1G-00077 平成13年7月27日~平成15年12月15日	3台	
SN	SB1G	FB15PE 8FB15P	SB1G-00014 ~ SB1G-00094 平成13年8月21日~平成16年6月10日	51台	
SN	SB1G	FB18PE 8FB18P	SB1G-00011 ~ SB1G-00079 平成13年6月28日~平成16年1月8日	6台	
SN	SB2G	FB20PE 8FB20P	SB2G-00019 ~ SB2G-00057 平成13年11月28日~平成16年3月29日	17台	
SN	SB2G	FB25PE 8FB25P	SB2G-00013 ~ SB2G-00060 平成13年9月25日~平成16年4月28日	24台	
	計 2型式	計 14車種	製作期間の全体の範囲 :平成13年6月28日~平成16年6月10日	計122台	

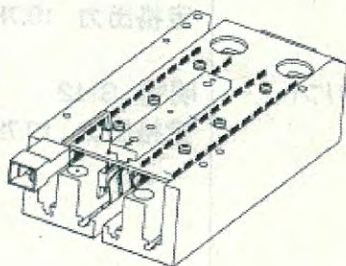
改善箇所説明図



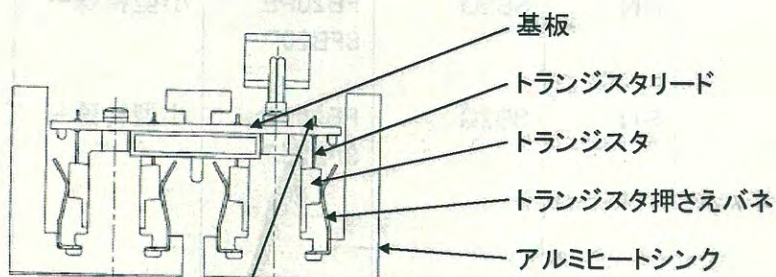
注: □は交換部品を示す。

基準不適合箇所

コントローラ内パワーモジュール



パワーモジュール断面図



基準不適合箇所: トランジスタのリードハンダ部溶損

基準不適合内容

車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。

そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、当該コントローラを対策品と交換する。

対策後識別: 作業が終了したら、コントローラ上面のプリント板表面に白ペンキでマーキングする。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (最大出力(KW))	備考
SN	SB1G	FB09PE 8FB09P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN1 定格出力 7.3KW	
SN	SB1G	FB10PE 8FB10P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN1 定格出力 7.3KW	
SN	SB1G	FB14PE 8FB14P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN1 定格出力 7.3KW	
SN	SB1G	FB15PE 8FB15P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN1 定格出力 7.3KW	
SN	SB1G	FB18PE 8FB18P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN1 定格出力 7.3KW	
SN	SB2G	FB20PE 8FB20P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN2 定格出力 10.7KW	
SN	SB2G	FB25PE 8FB25P	小型特殊一	フォークリフト	明電 SN2 定格出力 10.7KW	

連絡先	:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
TEL	:03-5253-8111 内線42353
アドレス	:http://www.mlit.go.jp

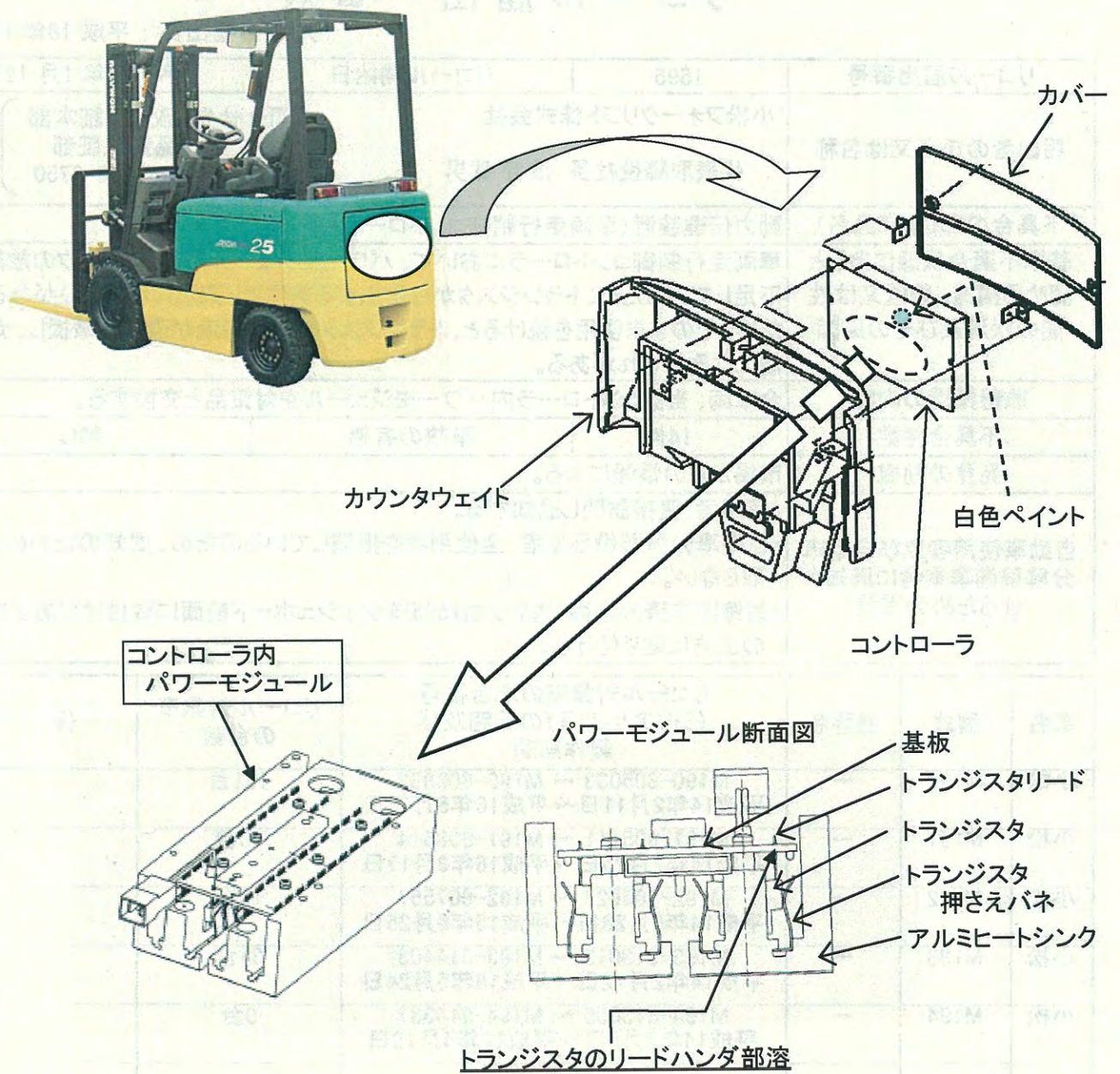
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成18年1月11日

リコール届出番号	1595	リコール開始日	平成18年1月12日
届出者の氏名又は名称	小松フォークリフト株式会社 代表取締役社長 渋谷 武男		問合せ先:品質保証本部 品質保証部 TEL :0285-28-8750
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(車両走行制御コントローラ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該コントローラ内パワーモジュールを対策品と交換する。		
不具合件数	14件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:直接訪問し通知する。 ・自動車分解整備事業者:全使用者を把握しているのため、周知のための措置は取らない。 ・対策実施済み車両:ステッカ(1595)をダッシュボード前面に取付けてある社銘板の上方に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	M190	—	M190-805033 ~ M190-808932 平成14年2月11日~平成16年5月29日	191台	
小松	M191	—	M191-805111 ~ M191-808614 平成14年2月25日~平成16年3月17日	10台	
小松	M192	—	M192-805627 ~ M192-807557 平成14年6月26日~平成15年6月25日	19台	
小松	M193	—	M193-813015 ~ M193-814403 平成14年2月12日~平成16年5月24日	31台	
小松	M194	—	M194-813055 ~ M194-814337 平成14年3月6日~平成16年4月19日	9台	
	(計5型式)	—	(製作期間の全体の範囲) (平成14年2月11日~平成16年5月29日)	(計260台)	

改善箇所説明図



基準不適合箇所

車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該コントローラ内パワーモジュールを対策品と交換する。

注: □ は交換部品を示す。

識別

コントローラ上面のカバーに白色ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (最大出力 (KW))	備考
小松	M190	—	小型特殊・—	フォークリフト	明電舎 KM1 (7.3KW)	
小松	M191	—	大型特殊・—	フォークリフト	明電舎 KM1 (7.3KW)	
小松	M192	—	大型特殊・—	フォークリフト	明電舎 KM1 (7.3KW)	
小松	M193	—	小型特殊・—	フォークリフト	明電舎 KM2 (10.3KW)	
小松	M194	—	大型特殊・—	フォークリフト	明電舎 KM2 (10.3KW)	

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (最大出力 (KW))	備考
①	10		F21-0101~F21-0102 (平成13年4月1日~平成13年6月1日)	F21B	F21	FCM
	8		F21-0211~F21-0212 (平成13年7月1日~平成13年8月31日)	F21B	F21	
	5		F21-0321~F21-0322 (平成13年9月1日~平成13年10月31日)	F21B	F21	
	4		F21-0431~F21-0432 (平成13年11月1日~平成13年12月31日)	F21B	F21	
	2		F21-0541~F21-0542 (平成14年1月1日~平成14年2月28日)	F21B	F21	
②	2		F21-0651~F21-0652 (平成14年3月1日~平成14年4月31日)	F21B	F21	FCM
	1		F21-0761~F21-0762 (平成14年5月1日~平成14年6月31日)	F21B	F21	
	1		F21-0871~F21-0872 (平成14年7月1日~平成14年8月31日)	F21B	F21	
③	1		F21-0981~F21-0982 (平成14年9月1日~平成14年10月31日)	F21B	F21	FCM

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線 42353
 フォン : http://www.mlit.go.jp

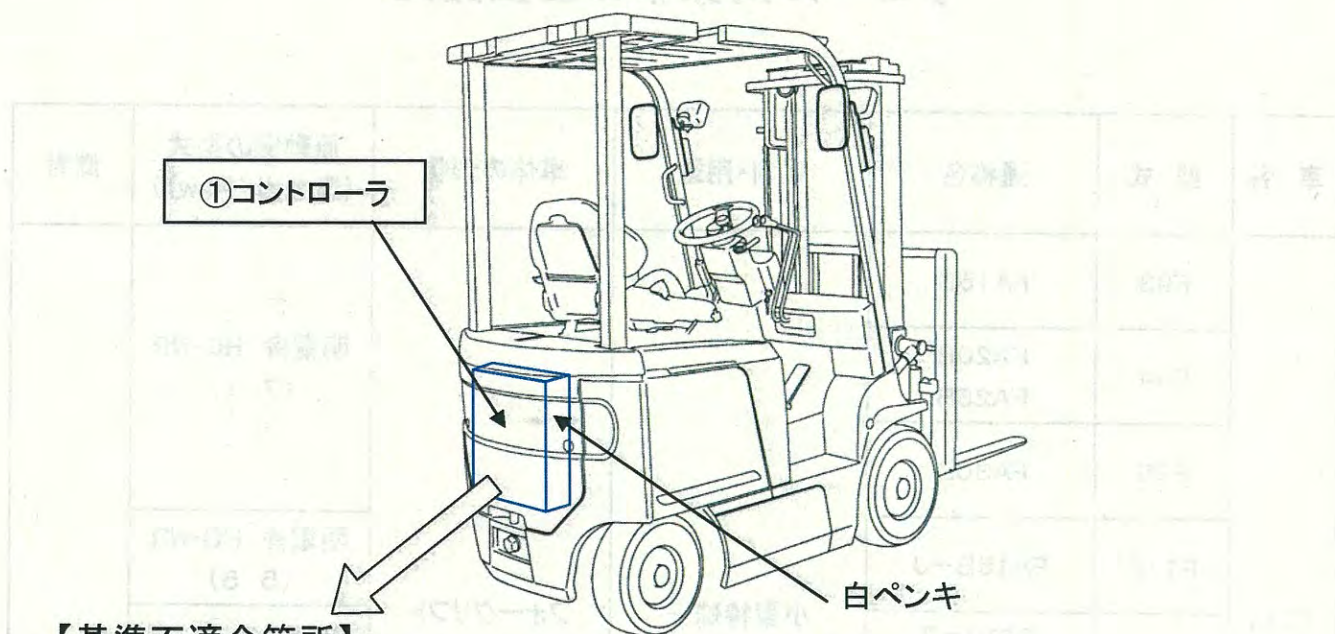
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成18年1月11日

リコール届出番号	1596	リコール開始日	平成18年1月12日
届出者の氏名又は名称	TCM株式会社 執行役社長 石木 厚重	問い合わせ先	TCM株式会社 産業車両事業部 滋賀工場 品質保証部 TEL 0748-37-2261
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(車両走行制御コントローラ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、型式に応じて以下の対策を行う。 ①当該コントローラを対策品と交換する。 ②当該コントローラ内パワーモジュールを対策品と交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者及びユーザを全て把握しており、直接訪問あるいは電話等でユーザへ連絡する。 ・ 自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので、周知のための措置はとらない。 ・ 改善実施済車には、キャビネット前面右上隅に No.1596 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
TCM	F93	FA15B	F93-00105~F93-00957 (平成13年1月17日~平成16年6月1日)	19	①
	F94	FA20B FA25B	F94-00241~F94-00823 (平成13年5月29日~平成16年6月23日)	8	
	F95	FA30B	F95-00124~F95-00230 (平成13年5月30日~平成16年1月5日)	2	
	F112	FA15B-J	F112-00103~F112-00202 (平成15年6月9日~平成16年6月22日)	4	②
	F98	FB10-7 FB15-17 FB15-7	F98-00103~F98-01632 (平成14年5月20日~平成16年6月11日)	63	
	F99	FB20-17 FB20-7 FB25-17 FB25-7	F99-00102~F99-01489 (平成14年5月27日~平成16年6月14日)	26	
	F100	FB30-7 FB30-7V	F100-00103~F100-00385 (平成14年8月23日~平成16年6月11日)	2	
(計7型式)	(計14車種)	(製作期間の全体の範囲) (平成13年1月17日~平成16年6月23日)	(計124台)	①33台 ②91台	

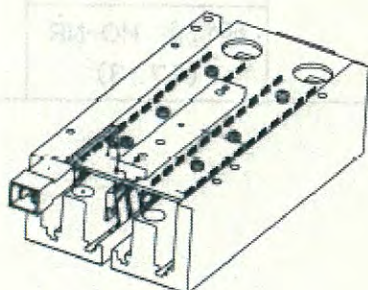
改善箇所説明図



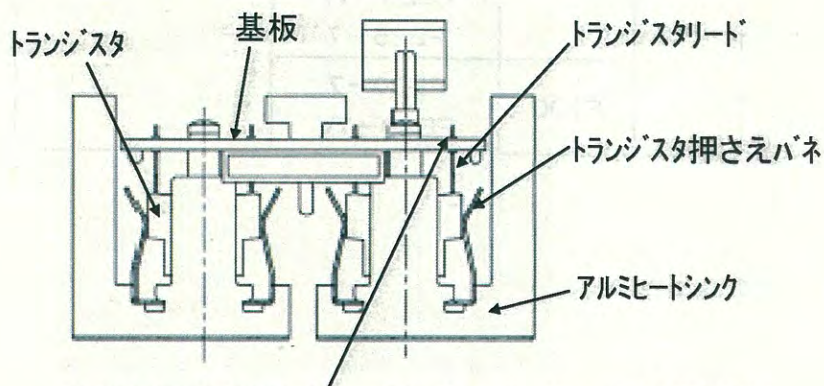
【基準不適合箇所】

②コントローラ内パワーモジュール

注: □ は交換部品を示す



パワーモジュール断面図



基準不適合箇所: トランジスタのリードハンダ部溶損

【基準不適合内容】

車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。

【改善内容】

全車両、型式に応じて以下の対策を行う。

- ①当該コントローラを対策品と交換する。
- ②当該コントローラ内パワーモジュールを対策品と交換する。

対策後識別：作業が終了したら、コントローラ右側面に白ペンキでマーキングする。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (最大出力(kw))	備考
TCM	F93	FA15B	小型特殊一	フォークリフト	明電舎 HO-NR (7.1)	
	F94	FA20B FA25B				
	F95	FA30B				
	F112	FA15B-J			明電舎 HO-NR (5.5)	
	F98	FB10-7 FB15-17 FB15-7			明電舎 HO-NR (11.5)	
	F99	FB20-17 FB20-7 FB25-17 FB25-7			明電舎 HO-NR (13.1)	
	F100	FB30-7 FB30-7V			明電舎 HO-NR (17.3)	

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

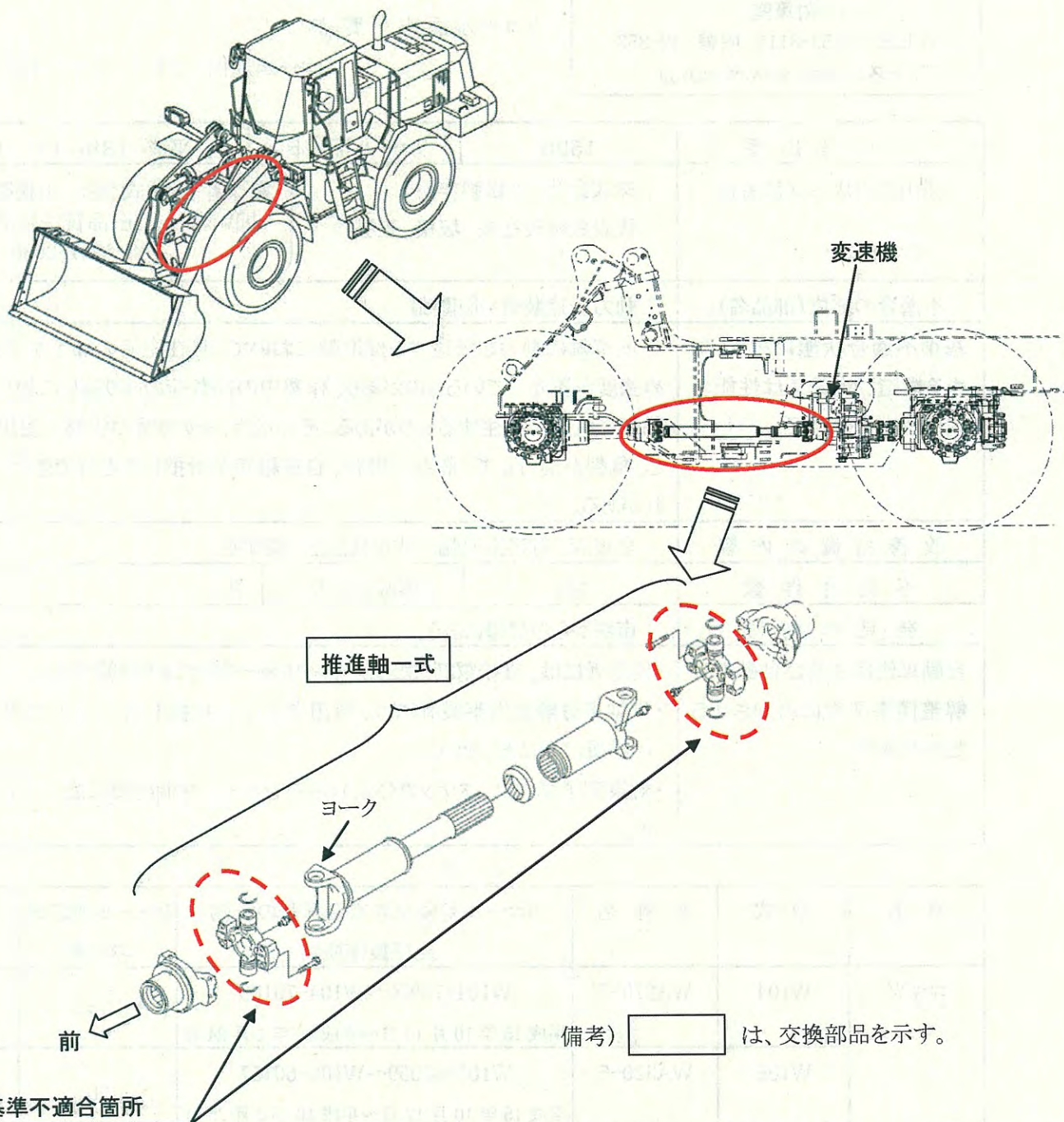
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 18年 1月 11日

リコール届出番号	1598	リコール開始日	平成 18年 1月 11日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘		
	製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(推進軸)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	前車軸に動力を伝達する推進軸において、自在継手の加工が不適切なため強度が不足しているものがあり、作業中の高負荷の繰り返しにより当該継手軸部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して、最悪の場合、自在継手が折損して走行できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該推進軸一式を良品と交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者には、直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者には、使用者を全て把握しているため周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1598)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	W104	WA270-5	W104-70070~W104-70189 平成 15年 10月 14日~平成 16年 1月 24日	19	
	W105	WA320-5	W105-60059~W105-60157 平成 15年 10月 17日~平成 16年 2月 25日	26	
	(計 2 型式)	(計 2 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 15年 10月 14日~平成 16年 2月 25日	(計 45 台)	

改善箇所説明図

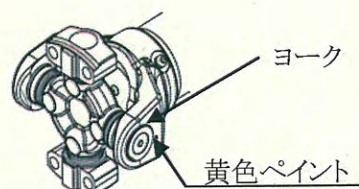


基準不適合箇所

前車軸に動力を伝達する推進軸において、自在継手の加工が不適切なため強度が不足しているものがあり、作業中の高負荷の繰り返しにより当該継手軸部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して、最悪の場合、自在継手が折損して走行できなくなるおそれがある。

改善措置の内容 : 全車両、当該推進軸一式を良品と交換する。

識別 : 推進軸のヨーク端面に黄色ペイントを塗布する。



リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
コマツ	W104	WA270-5	大型特殊 建設機械	ショベル・ローダ	6D102 (5,883)	
	W105	WA320-5	大型特殊 建設機械	ショベル・ローダ	6D102 (5,883)	

連絡先: 国土交通省 自動車交通局 技術安全部
 審査課 リコール対策室 調査指導第一係
 電話番号: 03-5253-8111 内線: 42253
 国土交通省 ホームページアドレス:
<http://www.mlit.go.jp>

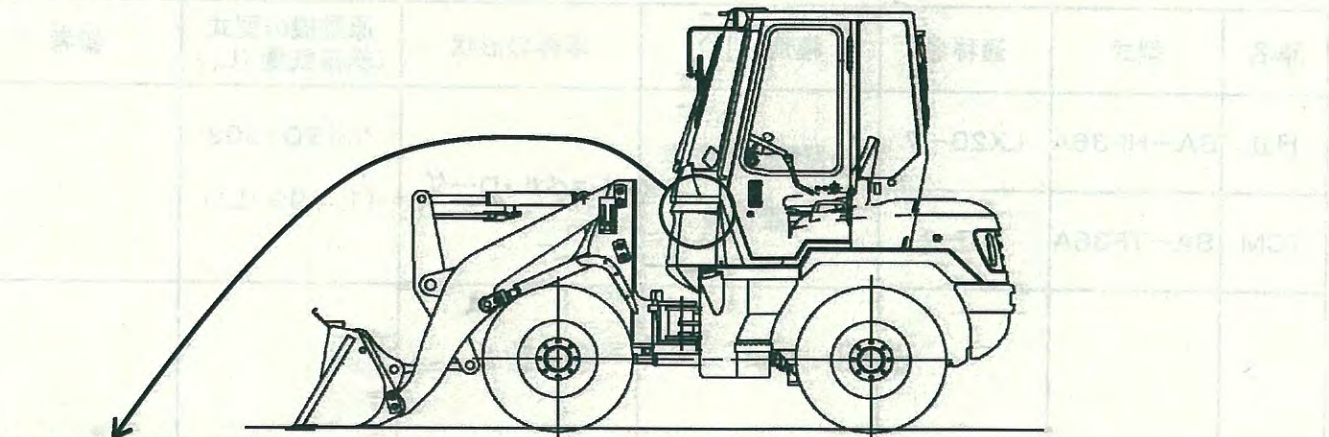
リコール届出一覧表

リコール届出日: 平成18年 1月 26日

リコール届出番号	1614	リコール開始日	平成18年 1月 26日
届出者の氏名又は名称	株式会社 日立建機アルバ 代表取締役社長 橋本一彦 問い合わせ先: 株式会社 日立建機アルバ 品質保証部 0282-82-3113		
不具合の部位(部品名)	盗難防止装置(電気回路)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	盗難防止装置の電気回路において、リレーの仕様が不適切なため、リレー内部のコイルが発熱するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、コイルが短絡してヒューズが溶断し、原動機が停止して再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、リレーを対策品に交換する。		
不具合件数	国内: 6 件	事故の有無	国内: 無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者: 直接電話等でユーザに連絡する。 ・自動車分解整備事業者: 使用者を全て把握しているため、周知のための措置はとらない。 ・対策完了車については、ステアリングサポート左側に白色のペイントでマークを表示する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日立	SA-HF36A	LX20-7	F36-04504~F36-04657 平成17年8月22日~平成17年10月24日	100台	
TCM	SA-TF36A	L4-2	F36-04828 平成17年11月23日 (製作期間の全体の範囲)	1台	
	(計2型式)	(計2車種)	平成17年8月22日~ 平成17年11月23日	(計101台)	

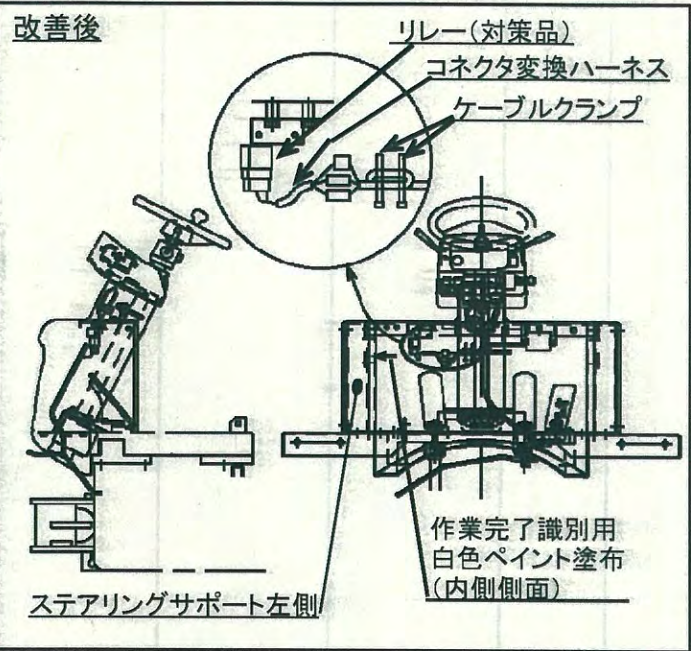
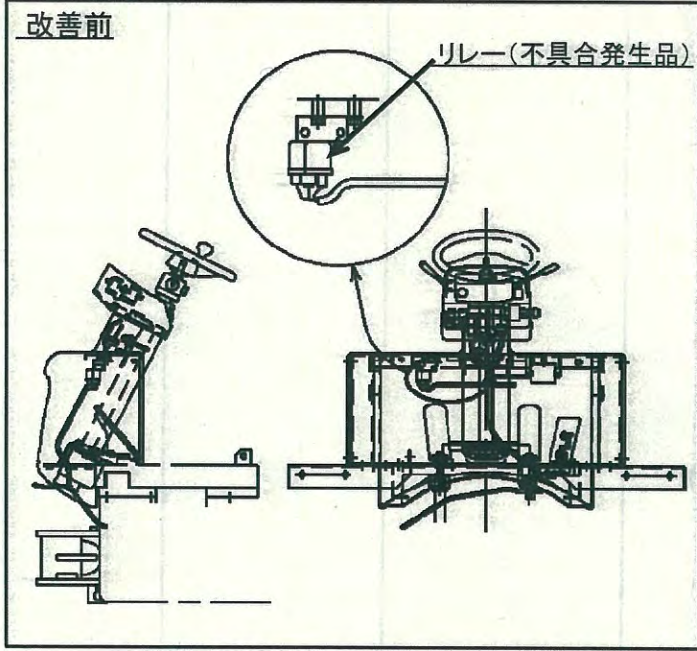
[改善箇所説明図]



[不具合発生箇所]

盗難防止装置の電気回路において、リレーの仕様が不適切なため、リレー内部のコイルが発熱するものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、コイルが短絡してヒューズが溶断し、原動機が停止して再始動できなくなるおそれがある。

改善内容
全車両、リレーを対策品に交換する。



識別: 対策完了車については、ステアリングサポート左側に白色のペイントでマークを表示する。

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (L))	備考
日立	SA-HF36A	LX20-7	小型特殊自動車 建設機械	シヨベル・ローダ	クボタD1503 (1.499 (L))	
TCM	SA-TF36A	L4-2				